

第2回 戸塚区品濃町最終処分場検証委員会

日 時：平成18年3月24日（金）9時～

場 所：新横浜フジビューホテル 本館3階 竹の間

次 第

- 1 開会
- 2 資源循環局長挨拶
- 3 議事
 - (1) 事案の検証（埋立状況と経緯）
 - (2) その他
- 4 報告事項
 - (1) 第1回検証委員会会議録について
 - (2) 第1回技術検討委員会の開催について
- 5 閉会

配付資料

- | | |
|-----|----------------|
| 資料1 | 埋立状況と経緯 |
| 資料2 | 第1回検証委員会会議録 |
| 資料3 | 技術検討委員会の開催について |

戸塚区品濃町最終処分場検証委員会委員名簿

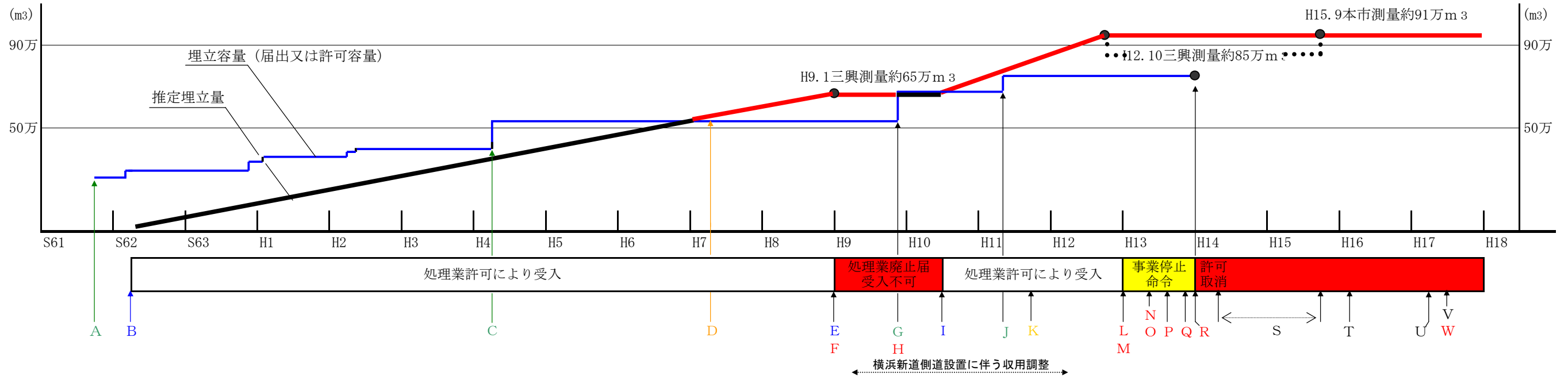
(五十音順)

	氏 名	所 属 等	専門分野
◎	おがの しょういち 小賀野 晶一	千葉大学大学院教授	法律
	さくもと なおゆき 作本 直行	独立行政法人日本貿易振興機構 アジア経済研究所	国際環境
	たかい かえこ 高井 佳江子	弁護士	法律
	たなか みつる 田中 充	法政大学教授	環境行政学
	とくえ よしのり 徳江 義典	横浜国立大学法科大学院教授 弁護士	法律

◎委員長

戸塚区品濃町最終処分場の埋立状況と経緯

資料 1



- A S61.9.5 施設設置届出 (埋立容量27万m³) 本件場所に管理型最終処分場を設置する旨の届出書を提出⇒埋立容量 271,520m³ (埋立面積 18,767m²)
- B S62.4.23 埋立処理業許可 取得済の収集運搬業や処分(選別)に加えて、最終処分(埋立)の許可を取得。
- C H4.5.25 施設変更届出 (埋立容量52万m³) 既設最終処分場の埋立容量等の拡大に伴う施設変更届出を提出⇒埋立容量 515,139m³ (埋立面積 21,386m²)に変更。
- D H7.5.12 から H9. まで 指示書交付 平成7年4月以降、埋立廃棄物の高さを計画高さまで下げるよう現場立入時に指導してきたが改善が見られないため、文書による指示を実施した。(計5回)
- E H9.2.24 処理業廃止届 最終処分場埋立終了のため、最終処分業の廃止届出書を提出。
- F H9.2.24 第1回措置命令 事業者が埋立容量を測量した結果、許可容量を超過していることが判明(H9年1月)。産業廃棄物を過大に処分し積み上げている状態の原状回復措置を命令。
- G H9.12.25 変更許可 (埋立容量67万m³) 横浜新道側道設置に伴う埋立区域の変更等により施設の変更許可申請が出され、これを許可⇒埋立容量 674,252m³ (埋立面積 23,899m²)
- H H9.12.25 第2回措置命令 第1回措置命令に対し、横浜新道側道設置計画との調整等に時間を要したものの命令事項が履行されていないため、再度履行期限を定めて原状回復措置を命令。
- I H10.6.29 処理業許可 施設の変更許可により廃棄物の受け入れが可能となったとのことで処分業(最終処分)の許可申請が出され、これを許可⇒受入容量を限定。
- J H11.6.24 軽微変更届出 (埋立容量74万m³) 軽微変更届出が提出され、埋立容量が738,502m³まで拡大された。(埋立面積 25,914m²)
- K H11.9. から H12.12. まで 指示書交付 修景作業及び搬入抑制について文書指導(12回)
- L H12.12.15 第1回事業停止命令 許可容量を超えて埋立を行ったため、24日間若しくは埋立容量が施設容量以下となったことを市が確認した日まで事業停止を命じた。
- M H12.12.27 第1回改善命令 嵩下げ作業による悪臭が処分場外に発散しないような措置を講じることを命じた。
- N H13.3.23 第3回措置命令 廃棄物の飛散、過剰埋立による法面崩落・流出防止、浸出液による地下水の汚染を防止するために必要な措置を講じることを命じた。
- O H13.3.23 第2回事業停止命令 第1回事業停止命令の停止期間経過後の測量で容量超過が解消されていないことが判明したため、180日間の事業停止を命じた。
- P H13.9.21 第3回事業停止命令 第2回事業停止命令で命令理由(埋立廃棄物量が許可容量を超過)が解消されていないため、60日間の事業停止を命じた。
- Q H13.11.20 第4回事業停止命令 第3回事業停止命令で命令理由(埋立廃棄物量が許可容量を超過)が解消されていないため、90日間の事業停止を命じた。
- R H14.1.16 許可取消 第3回措置命令事項が履行期限までに完遂されておらず、措置命令に違反したことからすべての処理業の許可を取り消した。
- S H14.4.23～ H15.10.30 G社が3回目措置命令を代行 G社が措置命令の履行等を目的として設立され、第3回措置命令の内容の一部を代行。(水処理については、現在も代行)
- T H16.2.1 水質検査 処分場下流の公共水路の水質検査(2回目を4.14)を実施。BOD等有機性汚濁とホウ素が環境基準を超過
- U H17.3.18 下水道仮接続工事 公共水路で水質汚濁が確認されたため、上流部の排水を下水道に仮接続する工事を実施。
- V H17.7.22 刑事告発 法人及び元役員1名を廃棄物処理法(第15条の2の4:変更の許可等)違反で刑事告発した。
- W H17.7.26 第4回措置命令 元役員4名に対して第3回措置命令と同じ内容で必要な措置を講じることを命じた。

第1回 戸塚区品濃町最終処分場検証委員会会議録

日時 平成18年1月20日(金)午後2時から午後3時20分まで

開催場所 横浜市情報文化センター7階大会議室

出席者 (委員)

小賀野委員、作本委員、高井委員、田中委員、徳江委員

(横浜市)

資源循環局長、副局長、適正処理部長、産業廃棄物対策担当部長、総務課長、産業廃棄物対策課長、適正処理監視指導担当課長、他事務局8名 計15名

開催形態 公開(傍聴者 6人)

- 決定事項
- 1 小賀野委員が委員長に選出された。
 - 2 「戸塚区品濃町最終処分場検証委員会の会議の公開・傍聴規程」が了承された。
 - 3 平成18年秋ごろを目途に6回程度開催し、検証結果と再発防止策をまとめることとした。

議事

- 1 戸塚区品濃町最終処分場検証委員会設置要綱第4条第1項の規程に基づき、委員長の選出を行い、小賀野委員が委員長に選出された。
- 2 「戸塚区品濃町最終処分場検証委員会の会議の公開・傍聴規程」が了承された。
会議録は、審議経過、決定事項等について、その要点をまとめることとし、発言した個人名は掲載しないこととした。
また、会議録は公開することとし、非公開会議とした場合も公開できる部分ではできるだけ公開することとした。
- 3 事案の概要について
事務局から、戸塚区品濃町最終処分場事案概要資料により事案の概要を説明した。
- 4 今後のスケジュールについて
事務局より今後のスケジュールについて説明し、平成18年秋ごろを目途に6回程度開催し、検証結果と再発防止策をまとめることで了承を得た。

(主な意見等)

- ・設置要綱上の用語について、「行政対応」は、命令・処分だけでなく、指導の他、排出事業者への対応などを含め再発防止策検討に必要な範囲とし、「検証」については、当時の法令を前提に、組織としての対応を検証することで了承された。
- ・質疑を踏まえて、委員長から事務局に対しこれまでの行政措置等の詳細資料の作成について要請があった。

資料

- 1 戸塚区品濃町最終処分場検証委員会設置要綱
- 2 戸塚区品濃町最終処分場検証委員会名簿
- 3 戸塚区品濃町最終処分場検証委員会の会議の公開・傍聴規程(案)
- 4 戸塚区品濃町最終処分場事案概要

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記者発表資料
平成18年 3月 1日
資源循環局産業廃棄物対策課長
伊藤 秀明 Tel 671-2526

「戸塚区品濃町最終処分場技術検討委員会」の開催について

(株)三興企業が戸塚区品濃町に設置している最終処分場では、許可容量を超えて廃棄物が埋め立てられており、場内汚水の場合への漏洩や廃棄物の飛散など周辺的生活環境保全に支障が生じています。事業者及び前代表者等には支障除去の措置命令を発令しましたが、着手期限を過ぎても着手の見込みがなく、本市は市民の生活環境を保全するため行政代執行の手続きに着手したところであります。

そこで、当該処分場の行政代執行による改善工事を安全で効果的に行うために、学識者等の専門家による技術検討委員会を設置し、第1回委員会を次のとおり開催します。

1 日程

平成18年3月8日(水) 13時30分～

2 会場

関内中央ビル 10階 大会議室

横浜市中区真砂町2-22

JR線・市営地下鉄線「関内駅」徒歩約5分

3 内容

- (1) 委員長選出
- (2) 戸塚区品濃町最終処分場技術検討委員会の会議の公開・傍聴規程について
- (3) 処分場の概要について
- (4) 今後の調査方法について
- (5) 今後のスケジュールについて
- (6) その他

4 会議の公開

会議は公開で行われます。

5 委員就任予定者

(50音順、敬称略)

氏名	所属等	専門分野
相澤 好治	北里大学医学部教授	医学、公衆衛生学
今泉 繁良	宇都宮大学大学院教授	土質工学、環境地盤工学
猿田 勝美	神奈川大学名誉教授	環境科学
中杉 修身	上智大学大学院教授	環境工学
野馬 幸生	(独)国立環境研究所 循環型社会形成推進・廃棄物研究センター 循環資源・廃棄物試験評価研究室 室長	廃棄物化学
松藤 康司	福岡大学工学部教授	廃棄物工学
八木 美雄	(財)廃棄物研究財団 常務理事	廃棄物工学、廃棄物行政

※ 記者席

傍聴席とは別に用意しますので、会議室入り口前の受付にてお声をおかけください。
なお、会場内の写真撮影などは会議の冒頭までとさせていただきます。